

萩 ネットワーク

第 44 号 2002 年 3 月

発行：萩ネットワーク協会

〒 758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

TEL 0838-25-3131 FAX 0838-26-5458

萩市ホームページ

<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/hagicity/>

昨年 4 月にオープンした「萩しーまーと」は、県内外の観光客に盛況で、現在来場者は約 135 万人。4 月の 1 周年には 150 万人に達する見込みです。この影響もあり、平成 13 年の萩市の年間観光客数は、前年比 14% 増の約 145 万人でした。

写真は、上空から萩しーまーと、中の台などを含む小畑の萩漁港埋立地を撮影したものです。中央の「山口はぎ水産物地方卸売市場」が 3 月末に完成し、製氷・冷凍冷蔵施設（左）、萩しーまーと（中央）を含む埋立地の整備が完了します。

山口はぎ水産物地方卸売市場は、萩市・阿武郡の 14 漁協が合併した「山口はぎ漁業協同組合」が事業主体となる大規模魚市場です。完成後、萩漁港は、萩周辺の魚介類の水揚げ・販売などを 1 か所で行う、まさに「水産物の中核的流通基地」となります。

水産物流通の拠点

新しい萩漁港



春のイベント	・	P2
萩市の新施設の紹介	・	P3
市制施行 70 周年記念事業	・	P3
萩 400 年の物語 第 8 回 (北村知紀)	・	P4 ~ 5
ズームアップ [北村知紀]	・	P5
まあーるバス全国で 150 台	・	P6
しる魚漁開始、萩発句の味便り	・	P7
寄稿エッセイ [伊藤光治]	・	P8

目次

内田青虹さん萩高に日本画を寄贈	・	P9
夢追人 [森本文規]	・	P10
読者アンケート集計結果	・	P11
めーるぼっくす (投稿)	・	P11
中原静子著「難波大助・虎の門事件」	・	P12
萩城下の古き雛たちの仕掛人 [久保孝文]	・	P13
情報アラカルト	・	P14 ~ 15
幕末・維新こぼれ話 中嶋治平 (9)	・	P16



萩だけの春の楽しみ方

萩の春限定のイベントを一挙ご紹介

季節は春。暖かくなるとともに、市内の風景も彩りを見せて明るくなってきたようです。これから、「萩の春」の名産、名所などをテーマにしたイベントが開催されます。萩だけでしか体験できない催しに参加しませんか。

萩・椿まつり

2万5000本の椿が見頃

3月21日(祝)まで

笠山椿群生林

現在、笠山椿群生林の椿が最も美しく、多く開花する時期を迎えています。この時期に合わせて、開催している萩・椿まつりも盛り況です。

主な催し 椿見どころ案内人(午前10時〜午後4時)

【日曜・祝日のみ】抹茶席(午前10時〜午後3時)、郷土芸能披露(午前11時、午後1時30分)

問い合わせ 萩市観光課 (0838・25・3139)

しる魚の漁期真っ最中

しる魚まつり

3月3日(日)

JR東萩駅前広場

萩の春の訪れ告げる風物詩として有名なのが、「四つ手網」と呼ばれる独特の漁法で行われるしる魚漁。今年も2月23日から本格的に漁が始められました。

しる魚まつりでは、とれたてのしる魚を味わうことができます。

主な催し しる魚おどり食い試食(午前10時30分、午後1時30分)、しる魚即売(午前10時〜午後3

時、1袋1000円)、四つ手網の有料体験(午前10時〜午後3時、1500円、しる魚1袋付) 問い合わせ 萩市観光協会 (0838・25・1750)

春は新酒の完成時期

萩の酒まつり

3月16日(土)

千春楽味楽亭(堀内)

この時期、萩地域では代表的な地場産品である地酒の新酒が完成します。

萩の酒まつりでは、できたての日本酒を使った利き酒と、新酒をしる魚などの萩の特産品を肴に楽しむ交流会があります。

主な催し 利き酒競技会(午後3時〜4時)、酒と肴を楽しむ会(午後4時〜5時30分)

会費 【前売券】男性3000円、女性2500円 【当日】男性



昨年の萩の酒まつり(鏡開き)

性3500円、女性3000円 問い合わせ 萩酒造組合 (0838・22・0364)

連休中の大萩焼市

萩焼まつり

5月1日(水)〜5日(祝)

萩市民体育館

ゴールデンウィーク中の恒例行事となっている萩焼まつりは、毎年5月1日から5日まで。

今年1月に国の「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に萩焼が指定されました。芸術品と伝統工芸品の2つの側面を持つ萩焼が一堂に集められ、お好みのものが発見できる絶好の機会です。

問い合わせ 萩商工会議所 (0838・25・3333)

萩・大茶会

城跡とつつじを背景に一服

5月3日(祝)・4日(祝)

萩城跡指月公園

萩は、全国の茶人たちからこよなく愛される茶陶・萩焼をはじめ、茶の湯の文化が栄えた町のひとつです。

萩・大茶会は、萩の茶の湯文化と茶陶・萩焼を、かつて毛利家の居城として栄えた萩城跡で、どなたでも楽しむことができる贅沢な催しです。

裏千家、表千家、遠州流、小堀遠州流の市内の4流派が一堂に揃って開催される茶会も、萩・大茶会のみ。

問い合わせ 萩市観光課 (0838・25・3139)

7月までのイベント予定

【4月3日(日)まで】

○萩城下の古き雛たち(青木周弼旧宅ほか)

【4/20(土)〜21(日)】

○牡丹・つつじまつり(萩城跡指月公園)

【5月12日(日)】

○萩・夏みかんまつり(かんきつ公園)

【5月19日(日)】

○浜崎おたから博物館(浜崎地区)

【6月2日(日)】

○おしくらごう(橋本川下流)

【6月8日(土)】予定

○ほたるまつり in やまだ(山田地区)

【6月30日(日)】予定

○萩・菊ヶ浜アイアンマンレース(菊ヶ浜)

【7月中旬】

○萩ヨットレース(菊ヶ浜沖)

○砂の芸術祭(菊ヶ浜)

○ビーチバレー in 萩(菊ヶ浜)

萩市の新施設の紹介

今年も、萩市の様子が少し変わります。

3月末には、萩市のメインストリートともいえる、市役所前の国道191号が4車線化されるほか、旧田中別邸・かんきつ公園等の施設が完成します。

また、萩市は今年市制施行70周年。1年にわたり7月の記念式典をはじめ、様々な記念行事が行われます。

国道191号4車線化工事 3月末に完了

萩市役所前の国道が広くなります

国道191号萩拡幅（県立萩美術館・浦上記念館前）御許町交差点、約800m）は、今年3月末までに4車線化工事を完了することを目指して工事が進められています。



国道191号（市民館前）の4車線化工事



広がった歩道（市役所前）

現在、工事の関係で片側1車線ずつを利用し走行していますが、4車線のほぼ全体の姿見えてきています。県総合庁舎から御許町交差点までの市役所側の歩道も拡幅・舗装工事がほぼ完了しており、以前とは全く違う風景が広がっています。さらに沿線の電線地中化及び、電柱撤去工事が6月末までに完了予定です。

旧田中別邸 かんきつ公園

4月から一般公開

萩市の名譽市民・故田中龍夫氏の遺族から萩市に寄贈された平安古の別邸と夏みかん畑が、「旧田中別邸・かんきつ公園」として3月末に完成し、4月から一般公開されます。

この地は、かつて萩に夏みかん栽培を広めた小幡高政が、最初に植栽したとされる場所で、地内に「橙園之碑」が残っています。

また、別邸は故人の父で元総理大臣の田中義一氏が所有したもので、公開に合わせて義一氏の遺品も展示もされます。

事業費【旧田中別邸】約1億5000万円【かんきつ公園】約2億7000万円



見島ダム

3月26日 竣工式



島民待望の見島ダム

所在地 見島大谷川
事業費 約96億3000万円

三見小中学校

3月30日 竣工式



体育館（左）と校舎

所在地 三見蔵本
事業費 約13億4000万円

萩市制施行70周年記念事業

主な行事予定

- 記念式典関連行事（萩市のうた制作・記念誌発行・ポータルサイト「萩・情報の駅」開設） 7月1日 萩市民館
- 女性模擬市議会 5月～10月予定 萩市役所
- 蔚山広域市交流事業 5月～11月予定 蔚山広域市・萩市
- 山口県竹とんぼフェスティバル 7月28日 萩市民体育館
- 市民大学教養講座・70周年特別編 7月～9月予定 萩市民館
- SHOWIN ウォーク・東遊編
8月予定 世田谷区・会津若松市・青森県
- 囲碁名人戦招致 9月25日～26日 会場未定
- 萩ウェルネスパーク武道館竣工式・完成記念事業
9月28日～30日 萩ウェルネスパーク武道館
- 大相撲萩場所 10月26日～27日 萩市民体育館
- 萩・第九演奏会 11月予定 萩市民館
- 姉妹都市物産展 11月予定 萩市民館
- 萩時代まつり（新能）^{たきぎのう} 11月予定 萩城跡指月公園
- 歌謡コンクール山口県決勝大会 11月予定 萩市民館
- 全国椿サミット萩大会 平成15年3月予定 笠山楢群生林ほか

萩400年の物語 第8回



五郎太石事件(下)「処刑の真相は殉教なり」

意外に思われるかもしれないが、萩にはかなりの数のキリシタン遺跡がひっそりと眠っている。堀内の岩国屋敷跡の一角、今は萩キリシタン殉教者記念公園になっている所に、大小2基の石碑が並んで建つ。五郎太石事件で処刑された熊谷元直くまがいもとなおと天野元信あまの もとのぶの殉教碑である。すなわち、二人が毛利輝元から死を賜ったのはこの事件の責任をとらされたからではなくて、本当の理由は棄教を拒み、キリシタン信仰を守ったためだというのである。

殉教説の根拠、セルケイラ報告書

熊谷豊前守元直の殉教碑は大正3年(1914)、萩カトリック教会の初代司祭ヒリオン神父によって建立された。この地は明治初年、長崎のキリシタン信者たちが配流されてきて、苛酷な扱いに30余人が獄死したと伝えられる悲劇の舞台でもある。

熊谷碑は「殉教者 1605」と記され、説明板にも「事件のことは」表向きの理由に過ぎない。本当の理由は彼が熱心なキリシタンで」と明記されている。

これはキリスト教会側に根拠とする史料があるからだ。時の日本司教セルケイラがこの事件を特に調査させ、報告書をローマ教皇とイエズス会総長に送っていた。

「毛利殿が彼を死に処した理由は、彼がキリシタン信仰を捨てなかつたからにほかならない」とし、さらにこう言い切っている。

「証言によれば、紛争のことなどは死刑の本当の理由、すなわちキリシタンゆえの処刑であることを隠すためであった」

そして、彼メルキヨール元直が「信仰に入ってから処刑までの18年間、正しくキリシタンらしい生活を営み」、信仰者として切腹を拒みいかに立派に死んだかを記していた。

まだキリシタン信仰は 黙認されていた

確かにキリスト教会側の資料では、熊谷らの処刑は疑いなく殉教にみえる。だから、権威ある『国史大辞典』も「熊谷元直」をキリシタン武将とし、教会側史料による殉教説を記している。だが、果たして一方的に殉教と言いつけるのだろうか。



▲萩町奉行によって立てられたキリシタン禁制の高札。事件からは77年後のもの(萩市郷土博物館所蔵)

▼教会側に「キリシタン宗門の大敵」とされた毛利輝元の墓(萩市堀内の天樹院墓所)

のみならず、この前後、日本のキリシタン信者は75万人と全盛期を迎えていた。当時の人口は現在のほぼ10分の1だから、驚くべき数字だ。

既にこの異質の宗教・価値観の急速な広がりは為政者の脅威にはなっていた。しかし、まだ布教は黙認され、セルケイラ自身が家康に謁見を許されていたこの段階で、キリシタン信仰を棄てないからといって重臣一族を処刑にできたとは思えない。

「輝元はキリシタン 宗門の大敵」

だが、教会側が熊谷らを殉教とするのは、取りも直さず毛利輝元はあえてそれをしたと言っているに等しい。なぜ輝元が幕府に先駆けて苛刑を行ったか。

それは輝元が「キリシタンに対し昔から敵意をもっていた」「憎んだ」からで、彼こそ「キリシタン宗門の大敵」だったからと断じている。そして、この敵意と憎悪がどこから生まれたかについて次のように書く。

輝元は迷信ぶかい人で、毛利家が内府様(家

信仰の問題は処刑理由の1つ

毛利輝元はキリシタン信仰と誅伐(処刑)の因果関係をとくに隠してはいない。知られるように、熊谷元直への自筆罪状書13か条の第8条にはっきり記している。

(キリシタン)信仰をやめるよう内々言い聞かせたが従わず、ますます一族や縁者の者まで引き入れ、背いた事。

実は、ほかの12か条も事の内容、大小は違っても、結局、元直の罪は主家をないがしろし、主命に従わないという「主命違背」につきる。キリシタン信仰と棄教の問題もその1つであって全部ではない。

元直が恣に振る舞ったことは、セルケイラが「毛利殿に対してさえ現した、かなり自由で率直な態度が若干の武士の嫉妬をおおっていた」と述べていることでも察しうる。これから藩組織・封建体制を固めていこうという時に、こんな厄介な重臣がいては家臣団の統制はとれない。名門熊谷元直が排除された最大の理由はここにある。

それは、処刑のあと、輝元がこの事件を教訓とした家臣820人ももの連署起請文を出させたことに歴然である。その冒頭にいう。

「この度熊谷豊前守、上意を軽んじ、大小のこと恣に振る舞い候ゆえ、誅伐遂げられ候。



史料に囲まれた2階の書齋で

▶萩市堀内のキリシタン殉教者墓地にある熊谷元直(右)と天野元信(左手)の殉教碑

第一、五郎太石事件がおき元直らが誅伐されたこの時期、日本でキリシタンはまだ禁教になっていない。徳川家康・幕府は貿易の利と勘案しながら布教を黙認していた。全国的に禁教令が出たのは8年の後である。

康)に敗北し2か国だけになったのは、自分が領内にパーデレ(司祭)を入れた罰だと考え、キリシタンを憎んだ。真偽のほどは分からないが、興味深い記述である。

「ご尤もに存じ候」
キリシタン信仰はいくつかの理由の一つ。それを「殉教」とするのはキリスト教会側の認識の問題であろう。
(つづく)
郷土史家 北村知紀

郷土史家、元毎日新聞編集委員

北村知紀氏

(萩市江向在住 昭和34年秋高卒)

前号(第43号)の読者アンケートで、関心のある記事ナンバーワンとなった「萩400年の物語」の筆者、郷土史家の北村氏にお話を伺いました。支持率ナンバーワンの結果を大変喜んでおられ、今号の筆に更に力が入ったとのことでした。

丸32年の新聞記者生活

萩高を卒業後、早稲田大学文学部に進み、毎日新聞社に入社。初任地である松山を皮切りに福岡、姫路など西日本12都市の支局、本社を転任、最後は大阪本社の編集委員で、32年間新聞記者生活を送ってきました。福岡では日本初のハイジヤック事件「よど号事件」の担当記者としてのスリリングな取材、また沖縄本土返還の前後2週間の現地取材、タイのチェンマイでの事件取材など、印象的な取材体験として思い出に残っています。

帰郷して萩の郷土史家に

ひとり萩に残る母親のこともあり、毎日新聞を退社、平成8年の5月、37年振りに故郷に戻りました。中学、高校の頃から歴史が大好きで、受験勉強をしても歴史は息抜きのようなもの、歴史を学ぶことが楽しくて仕方なかった程です。その歴史好きが高じて、現在は郷土史家として活動しています。萩には田中助一先生、松本二郎先生という立派な郷土史家がおられました。お二方とも故人となられました。「郷土史家はどの時

代にも必要、その跡を自分が継ぐ、萩の歴史を伝える役割を果たして行こう」と考えたのです。

自分ならではの視点で書きたい

現在の連載「萩400年の物語」は平成13年の1月からスタートしましたが、萩ネットワークへは、平成10年の3月から「維新の長州一主役の背景」「吉田松陰と毛利敬親」「情ある人 品川弥二郎小伝」と何本かの連載を執筆しています。歴史物となると、とかく専門的で難しくなりがちですが、読者の方に読んでもらわないと意味がないので、とにかく分かり易く、堅くならず、そしてコンパクトに書くことを心がけています。

また、自分らしい視点で書いた、との想いが非常に強く、みっちり史料にあたって執筆しています。「萩400年の物語」も、1回分の原稿を書き上げるのに、実は1か月近い時間をかけています。

歴史の宝庫で歴史三昧

萩城の築城が1604年です。で、2004年が萩開府400年の年にあたります。この連載もその時までには「完」としたいのですが、書きたい事、書くべき事が山のようにあって、どうなるか筆者自身も見通せていません。それだけ萩は歴史の宝庫と言ったことができます。

昨年8月には、「史都萩を愛する会」を立ち上げ、その機関紙にも連載を執筆、その他、歴史シンポジウムの講師をつとめたり、論文を発表したり、とにかく毎日歴史三昧、歴史がなによりも好きな自分にとって大変幸せな事だと思っています。

プロフィール

昭和34年秋高卒業。早稲田大学を経て、39年毎日新聞社に入社、平成7年退職。萩に戻り郷土史家として活躍のかたわら、史都萩を愛する会副会長、萩市情報公開審査会会長を務める。

萩・情報の駅

総合情報サイト

1月末から暫定オープン

前号でも紹介した、萩のポータルサイト「萩・情報の駅」が1月末に暫定オープンしました。暫定公開時点でのページ数は約400ページ、観光スポット情報はもちろん、飲食店情報や、旬の味覚情報など、盛り沢山の内容。7月の正式公開に向けて、さらに内容の充実を図っています。

<http://city.hagi.yamaguchi.jp/portal/>

毎月更新される特集記事のトップバッターは、笠山椿群生林で現在開催中の椿まつり。椿群生林の概要紹介に始まり、椿博士による椿の種類の解説や、群生林の詳細地図にある見所ポイントをクリックすると、その場所に咲く椿の画像が見られたり、とまさに現地に来ているような臨場感のある内容となっています。今年はこちらと見に行けないという方は、是非ホームページ上で萩の椿をご覧ください。

まあーるバスは萩発祥 全国で150台活躍中

2年前の4月に運行開始した、萩の循環バス「まあーるバス」と同型車両が、全国各地で約150台運行し、地域の利便な足として活躍しています。

平成11年11月、萩市からの要請を受けて、日野自動車から車両開発に着手。ノンステップで路面から

の高さが30cmという低床が最大の特徴で、高齢者に優しく、そして車体デザインも親しみやすい小型バスが出来上がりました。内装も乗客の立場に立った設計が行われています。

萩での運行が開始されてから、全国各地の自治体から「コミュニティバスの模範例」として「まあーるバス」の視察が相次ぎ、「人に優しいバス」として高い評価を受けました。そしてたった2年間で150台。県内の山口市、阿武町をはじめ、広島県廿日市市、岐阜県美濃加茂市、富山県高岡市など、萩発のアイデアが全国で採用された訳です。あなたの街にも、そのうち走るかも。



テーブルウェア・フェスティバル2002で

萩焼が特集展示されました

2月9日から17日まで東京ドームに約31万人が入場

2月9日から17日まで、東京ドームで行われた「テーブルウェア・フェスティバル2002 暮らしを彩る器展」で、「日本の器を訪ねて萩焼」と題して萩焼が特集展示され、47人の作家が出品しました。

このイベントは、国内外の食器類を一堂に集め、展示・即売するもので、同種のイベントとしては世界最大級のもの。今回で10回を数えます。初日は、午前10時の開場前から長蛇の列。入場制限がかかるほどでした。

萩焼の展示は、入場して初めの場所。開場とともに、萩城下を思わせる白壁や和室を再現したブースが多く見学者で賑わいました。また、会場内には販売スペースも設けられ、萩から5社の出店もありました。

岡田裕さんが講演



イベント初日には、陶芸家の岡田裕さんの講演が、特設ステージでの最初の催しとして開催されました。

萩焼は、1月末に「伝統的工芸品産業の振興に関する法律（伝産法）」の指定を受けたばかり。講演の中で岡田さんは、今回のイベントに出品できたきっかけとして、「伝産法」の指定を紹介しました。

最後に、「茶陶として始まった萩焼が、日常の身近な食器に変わってきた。理想的な文化を辿ってきたと自画自賛している」とコメントし、約1時間の講演を終りました。

萩国際大学学生募集

萩国際大学の平成14年度の新入学生と編入学生の募集は、今回で最後です。

【国際学科（比較文化コース、比較経済コース）】

募集人員 新入学生1140人、編入学生2年次11名、編入学生3年次110人

【経営情報学科（情報コース、経営コース、会計コース）】

募集人員 新入学生1160人、編入学生2年次11名、編入学生3年次110人

新入学生選抜日程（両学科共通）

○大学入試センター試験を利用する選抜（後期日程）

選抜方法 学科試験（大学入試センター試験を利用）、書類選考

出願期間 3月11日まで

合格発表 3月20日

編入学生選抜日程（両学科・年次共通）

○編入学（C日程）

選抜方法 学科試験（英語）または小論文、面接、書類選考

出願期間 3月6日～25日

試験日 3月28日

合否発表 3月29日

出願書類の請求と提出先 〒758-1858 萩市椿東浦田5000番地 萩国際大学入試センター（08388244000）

ご近所さんを探せ!

【URL】 <http://gokinjo.goo.ne.jp>

同じ趣味の仲間をネットで探せます

ご近所さんを探せ!は、近所に住んでいる友達を探したり、街の情報を調べたり、趣味の仲間を探したりと、いろんな事が簡単に実現できるネット上のサービスです。たとえば、「自分の住んでいる町の中で、歴史に興味のある、40歳代の男性」といった条件で検索すると、該当の方のペンネームリストが表示され、その方のプロフィールを見ることが出来ます。さらに会員(入会無料)になると、その会員さんとメール交換したり、掲示板で発言したり、サークルに参加するなど、ご近所さんのサービスを通して、仲間作りができます。ちなみに現在の萩市の会員登録者は308人で結構多くの方が登録されています。筆者の場合、萩出身ではないので、萩に来た当初はこのサイトで同じ趣味のご近所さんを探ることができ、ずいぶんと助かりました。一度覗いてみてください。

▶「ご近所さんを探せ!」のトップ画面



萩の春の風物詩



しる魚漁が始まりました



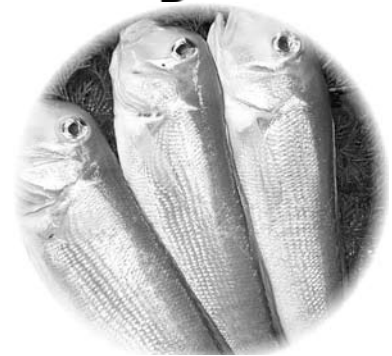
萩の三角州の東側を流れる松本川の河口部でしるうお漁が始まりました。毎年2月の中旬頃から遡上を始めるしるうおを6畳大の大きな四手網で捕獲します。

しるうお(素魚)は、ハゼ科の体長4〜5cmの透き通ったお魚で、よくシラウオ(白魚)と混同されますが、全く別の種類です。活きたままを踊り食いしたり、

てんぷら、卵とじなどの料理法で召し上がります。3月に入ると、萩市内の主な料理屋で早春のメニューとして登場してきます。

【しるうお料理をいただける店】
あじろ、あす花亭、河又亭、雁島別荘、鈴豊、千代、なな、萩っ子、百万石、味楽亭、和食たにし、和食れすとらん中村 ほか

萩産 旬の味便り



萩産 日本一のアママイ

3月の旬といえば、都会では「超」が付く高級魚となったアママイ。萩沖にはアママイの好漁場があり、鮮度の高い最高質のアママイが水揚げされ、萩のブランド魚の横綱格となっています。黄アママイ・赤アママイ・白アママイの3種があつて、普通に見られるのは赤アママイ。白アママイは「幻のシロアマ」と呼ばれるくらい珍しく、味も最高とされています。

萩ではその日に揚がった新鮮なアママイが手に入りますので、ほとんどの方が刺身で召し上がっています。ほんのりとした甘みがあつて、甘鯛の名前の由来が納得できます。

鮮度劣化の早いお魚ですので、都市圏では焼き物やこぶ締め、酒蒸し、かぶら蒸し、西京焼などで賞味されることが多いようです。特に京都では、「グジ」の名称で珍重され、この時期の懐石料理に

は無くてはならない素材となっております。

3月上旬は海が荒れる日が多く、なかなか出漁がままならない時期ですが、凧の日にはたくさん水揚げされ、価格も安くなっています。萩では、30〜35cmクラスが1尾1000〜1500円といたところ。萩しーまーと(0838・24・4973)などでは、現地価格+送料で産地直送にも対応しています。

【お勧めメニュー】



アママイの西京焼(4人前) アママイ中型1尾、西京味噌、みりん) 鱗と内臓を取り、3枚下ろし、適当な大きさの切り身にします。バットに少量のみりんで伸ばした西京味噌を薄く敷き、その上にクッキングペーパーを置きます。その上に切り身を置いて、上からクッキングペーパーで覆い、上にもみりんで溶いた味噌を塗ります。冷蔵庫に一晩寝かせ、グリルで焼きます。

若者たちへのメッセージ

東京たちはな会顧問 伊藤光治さん (84歳)

「勉強なんかしたくない」

そんな声の中・高校生の間に高まっているのである。

神奈川県藤沢市では1965年から、市中の中学3年生全員を対象に、5年毎に学習意識の調査をしている。最近のその調査によると、勉強に意欲を見せる生徒の数が、35年前の3分の1近くに落ち込んでいて、勉強したくないとする生徒が6倍にもふえているという。

OECDが世界31か国を対象に行った学力調査で、学生の勉強する時間が最も少ない国として日本をあげている。ある新聞に、「東大生でも愛読書のトップは情報誌や少年マンガ誌である」という記事があったが、学生の学力低下が

問題になっている。大人たちの中には、彼らが真剣に生きようとする情熱を失っているのではないかと危ぶむ人さへある。

私もそうであるが、大人たちは多かれ少なかれ、若い頃にもっと勉強しておけばよかったとする反省を持っている。自分たちの轍を若い者たちに踏ませたくないと思っているのだが、多くの大人たちは、「なぜ勉強しなければならぬのか」と聞かれると、若者たちを納得させるに足る答えを持っていないようである。

人間の脳は25歳頃までは成長を続ける。しかしそれを過ぎると、150億以上もある脳細胞が1日に10万個ずつも死んで行く。だから若いうちに勉強しておかなければ

ば、呂布の言葉のように、「悔やめど遅し、醒むれども及ばず」と嘆くことになる。

早くから読書を好み、書をよくした江戸後期の思想家、佐藤一斎は、「少くして学べばすなわち壮にして為すことあり」といつている。若いときに勉強しておけば、長じて必ず役に立つことがあるというのである。

私は農家の三男坊だが、子供の頃から商人になりたいと思っていた。そんな私にある商事会社に勤めていた叔父が、「商売をしたかったら、先ず経理を学べ」といった。私はその言葉に従って、学校では会計学を学んだ。

私の場合、会社に入って最初営業部門にいたが、いつの間にか会計財務の仕事をするようになり、学校の勉強がたいへん役に立った。またその実務に関する本を書いて数冊出版した。しかし誰もがそうとは限らない。

私の倅は技術者になるつもりで、学校では機械工学を学んだ。ところが会社へ入って3か月ぐらいたったある日、その会社の副社長がやってきて、「彼を営業マンとして仕込んでみたいがどうだろ

う」という。私は即座に賛成した。それから25年、彼はいま魚が水を得たかのように営業部門で活躍している。

私は勉強したいという人にはこういうだろう。

何でもよい。学ぶことは君が

自分自身を発見出来る最も近い道になるだろう。フランスの詩人、シャルルボードレルは、「人は仕事をすればするほどよ

りよく仕事をするし、もっと仕事をしたくなる」といつている。君は真面目に勉強すればするほど、もっと勉強したくなり、それが今よりもっと君を高めるために役立つに違いない。

私は勉強なんかしたくないという人にはこういうだろう。

勉強は学校に行くだけでもなく、本を読むだけでもない。

何かに挑戦することも学ぶことだ。「このことに関する限り誰にも負けない人になってやる」という意気込みで何かに取り組んでみたまえ。それはたとえ成功しなくて、そのことは君を今よりもっと高めるために役立つに違いない。

ドイツの詩人、ハインリヒ・ハイネは、「人は自分自身が廃虚にならないうちは、廃虚を理解しな

い」といつている。廃虚になってからでは遅い。若いうちに勉強することによって、あるいは何かに挑戦することによって、廃虚になることを免れるだろう。

若者たちよ、自らの若さに自身を持って。明日は君たちのものなのだ。

■筆者プロフィール

大正6年生まれ。秋商昭和11年卒。東京たちはな会顧問。現在、都内2か所でエッセイ教室を主宰。田園調布在住。

明日は君たちのもの!

市内4高校

今年の卒業生数

- ◆秋高等学校(普通科6クラス、理数科1クラス)
- 278人(男子118人、女子160人)
- ◆秋商業高等学校(商業科3クラス、情報処理科1クラス)
- 137人(男子45人、女子92人)
- ◆秋工業高等学校(機械科、電機科、土木科、建築科各1クラス)
- 136人(男子130人、女子6人)
- ◆秋光塩学院高等学校(普通科4クラス)
- 102人



たちはな会関東支部総会で(11月30日)

母校・萩高に日本画を寄贈

内田青虹さん（萩高5期卒）

萩市出身の女性日本画家・内田青虹さんが、昨年11月、母校の萩高等学校に日本画を寄贈されました。

画題は「今昔様vari 夢幻の如し」。内田さんの、「時の流れは速くして、人の一生は瞬く間に過ぎて行く。希望を叶える為自らを習練して、輝いて生きて欲しい。」という願いが込められています。寄贈された日本画は、本館2階図書室前の通路に展示されています。



「今昔様vari 夢幻の如し」

内田さんは、萩高5期卒（旧姓・富田）で、現在は西東京市に在住されています。日本史に登場する歴史上の人物をテーマに絵の制作活動に取り組まれています。

現在、防府市の防府天満宮歴史館で開催中の平成「手鑑」展にも、内田さんの作品が展示されています。

◆内田さんから一言
時代の流れと共に日本人もすっかり変わって参りました。殆んどが欧米指向になり、生活習慣から姿かたちまで茶髪にピアスもいとは思いますが、一見国籍不明人？が多くなりつつあり、これからの日本人はどうなる？との思いがこの度の作品になりました。古来の日本人の道程を知り、これからの日本をどの様に変えていくのか・・・若い人達に思いを込めて見ていただきたいと母校に贈りました。

日本人の古くから大切にしていた精神の要！「信義・礼節・忍耐」自分の責任と誇りを持って生き、日本の伝統文化を次世代に継いで行って戴きたいと念じて居ります。

ふるさと 萩のすがた

萩市の人口

平成14年1月末現在

46,338人

読者の方から、現在の萩市の人口を知りたいというご意見がありました。

昭和30年から現在までの人口の推移をお知らせします。

萩市は昭和30年3月に、隣接する大井村、三見村及び離島の六島村、見島村の4村を合併し、人口も最大になりました。その後は、減少を続けています。

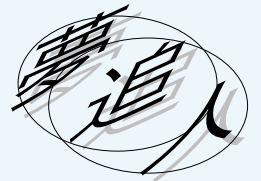
年次	総人口	年次	総人口
昭和30年	57,621人	平成2年	50,618人
昭和35年	56,831人	平成7年	48,314人
昭和40年	53,905人	平成12年	46,003人
昭和45年	52,541人	平成14年 (1月末)	46,338人
昭和50年	52,724人		
昭和55年	53,693人		
昭和60年	52,740人		

20世紀に残った 萩の足跡

昭和のある時代、萩で優雅で愛らしい小さな人形、小萩人形が盛んに作られた。生みの親は松村のぶ。昭和8年（1933）彼女の指導で婦人会員たちが製作をはじめ、同10年の萩史跡産業大博覧会で初めて土産品としてデビュー。人形のテーマは歌舞伎や舞踊、伝説など。高さ10cm余の人形の顔、身体、衣裳などすべてを一人の女性が細かく手作りする。戦後は萩社会館が戦争未亡人らの授産事業として講習会を重ねて製作者が増え、一時はアメリカなどへ輸出もされた。また、顔を布でつくる小萩人形は高名な人形作家辻村ジュサブローにも影響を与えている。今は作る人もほとんどないが、新しい「萩人形」を創作しようという動きが出てきている。



盛んだった小萩人形づくり(昭和30年代)



防長新聞社萩支局長

ふみのり

森本文規 氏(55歳)

(萩市無田ヶ原在住)

地域情報紙「サンデー北浦」の責任者として編集発行を行うかたわら、ライフワークとして北浦地区の環境問題と、幕末の科学者の研究を続けておられる森本氏にお話を伺いました。

思いがけないきっかけで、
憧れの町・萩へ

出身地は山口県大島郡です。大
学卒業後、法律家を目指して上京、
アルバイトで生計を立てながら司

法試験に挑戦しましたが、7年目
に断念して山口に戻りました。

山口では不動産会社に勤め、住
宅の販売をしていました。当時の
月給が60万円でしたので、かなり
の高給取りだったと思いますが、



仕事場でパソコンに向かって執筆中

将来への不安というか、自分の生
き方についての疑問というか、現
状にじっくり来ない自分がそこに
いました。

そんな時、会社が倒産、山口大
学の後輩の紹介で、現在の職に就
きました。元々、歴史が三度の飯
より好きな性質で、いつかは住ん
でみたいと思っていた萩に、会社
の倒産がきっかけで思いがけなく
移り住むことになったのです。

幕末の科学者・手塚律
蔵との出会い

萩に移って今年で16年になりま
す。不動産会社勤務のときと比べ
て給料は半分になりましたが、も
ともと物欲は無いし、身の丈に合
った生活をしている限り不自由は
ありません。それどころか、知れ
ば知るほど、萩は歴史の宝庫、自
分にとっては天国のような町で、
いまでも毎日わくわくしていま
す。

特に強い関心を持ったのが、小
畑にある反射炉。鉄製の大砲を作
るための炉ですが、日本に1箇所
建造された記録が残っています。
その設計書に携わった一人に、長
州・光市出身の手塚律蔵という洋
学者が存在していました。早速図
書館に走り、いろいろと調べるう
ちに、日本の産業技術の近代化に
大きな役割を演じた偉大な人物で
あることが分かってきました。

もう一つの歴史のペー
ジを開く

萩には反射炉の他、郡司鑄造所、
小畑戎が鼻の軍艦製造所など、幕
末の産業施設跡が残っています。
こういった施設は、当時の産業技
術の粋を集めた、今でいえばN A
S Aのような存在であった訳です。

萩は維新の町として有名です
が、それは主に政治の観点から綴
られたものです。一方で、産業技
術の観点から萩の歴史を、そして
日本の近代化を紐解いていくこと
に、今、興奮にも似た強い興味を
持っています。いわば、堅く閉じ
られた科学・産業技術史というも
う一つの歴史のページを開いてい
くことになりました。

同じ志を持つ県内外の約50人
と、昨年「幕末長州科学技術史研
究会」を旗揚げ、全国の研究者や
研究会とも連携し、日本の産業近
代化の原点を探っていきたいと考
えています。

■プロフィール

昭和21年山口県大島郡大島町生ま
れ。安下庄高等学校卒業。山口大
学文学部卒業、東京で遊学の後、
帰郷し不動産会社に勤務。昭和61
年からサンデー北浦編集長。
※サンデー北浦は、萩市・長門市・
阿武郡・大津郡の朝刊に毎週折り
込み。3万8000部発行。

漁村に残る懐かしい風景

越ヶ浜地区

いか干し作業

虎ヶ崎(越ヶ浜)の岸边で、越
ヶ浜漁協婦人が行う「いか干し
作業の様子」が、2月に農林水産
省等が主催する「第10回美しい日
本のむら景観コンテスト」の全国
漁業協同組合連合会会長賞を受賞
しました。



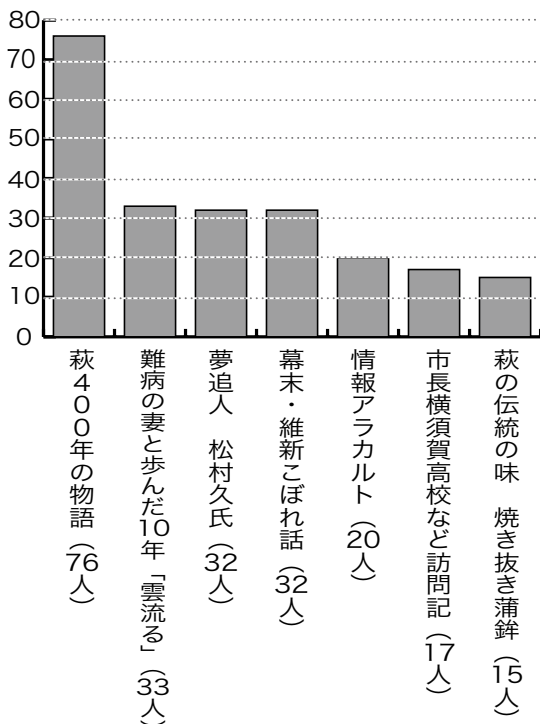
いか干し作業は、その日に地元
で獲れた新鮮な生きたいかを割っ
たあとすぐ干し、昼過ぎには柔ら
かく白く乾いた一夜干しが出来上
がります。いかは何日か干せば日
持ちしますが、柔らかかみをのこす
ために、一夜干しが行われていま
す。

ご協力ありがとうございました！

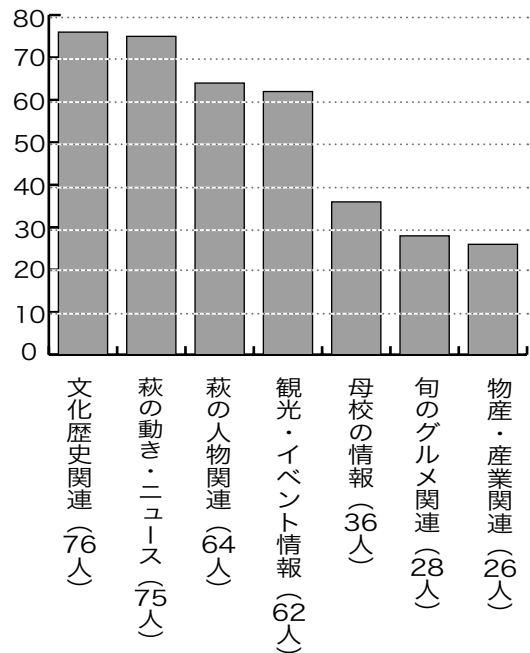
読者アンケート集計結果発表

総数 150 通、アンケートは来年 1 月まで有効です

◆ 1月号で関心を持った記事



◆ 今後掲載を希望するジャンル



めーるぼっくす

アンケートに寄せられた皆さんからの感想、ご意見を紹介します。

皆さんでこのコーナーをつくりませんか？お便りお待ちしております。

■萩出身の者は、どうしても子ども時代の想いが強いものです。高齢者になると「ふるさと」の自然に執着するようになります。指月、菊ヶ浜、笠山、川島、田床山など写真入りで紹介していただけるとうれしい。

(千葉県 藤屋恵二)

■萩を離れて38年になります。萩の想いは年を重ねるごとに強くなります。教育が大切といわれる時代、松陰先生の教育、萩の教育メッセージを連載して欲しいもの。

(千葉県 富田晴彦)

■遠くにいると、異口同音に「萩はいい所ですね」と言われます。どこがいい所なのか、他所から来る人が何に興味を持つのか、観光を旗印に隆盛をはかるにはどうすればいいか、萩以外に住む人から

の「御意見箱」を設けてプラス、マイナスいずれの意見、アイデアも述べ合う場所を作っては如何かと思えます。

(宮城県 阿座上竹四)

■毎号とても楽しみにしております。主人共に萩高出身なので、どの号でも誰かしら知っている方の情報があり、とてもありがたいです。帰萩する機会が減り減りましたが、「ネットワーク」を通して、在萩しているような気持ちになります。

(神奈川県 中村安子)

■萩の歴史、文化、人物を知りたくこの種の記事を増やして欲しい。また、各界で活躍されている萩出身者のエッセイも面白い。

(東京都 齊藤征太郎)

1月号プレゼント 当選者

○ふくヒレ(10人)

井町嘉伸、阿武出、増山博英、柴崎喜恵子、藤田薫、物部英康、金子康臣、東章、横山昇、吉田栄一

○阿武殿夫選手伝記(5人)

岩武照彦、小野幹雄、浅野新、井上一男、大石岩男

おめでとうございます。これからも素敵なプレゼントを予定していますので、お楽しみに。

「愛を求めたテロリスト」 難波大助・虎ノ門事件

中原静子（萩市土原在住）

元秋女子短期大学教授の中原静子先生が、大正12年に起こった虎ノ門事件を克明に調査され、「愛を求めたテロリスト 難波大助・虎ノ門事件」を2月25日に出版されました。

■難波大助(明治32年〜大正13年)
山口県周防村（現在の光市）出 作之進の四男として生まれる。早稲田第一高等学校に学び、社会主義思想の書物を読み、大逆事件な身。地元の大地主で代議士の父。



母校・東京女子大学の学長夫妻と菊ヶ浜にて（右端が中原さん）

どの実情を知ろうちに次第に共產主義に傾倒、関東大震災後の政府による社会主義者・無政府主義者らの虐殺に大いに憤慨、テロ決行を決意する。

大正12年12月27日、虎ノ門で当時摂政官だった昭和天皇を仕込杖銃で狙撃。未遂に終わったが、裁判で死刑判決を受け、翌年11月15日に25歳の若さでこの世を去った。

私が大助の人生を（取材と執筆で）追体験する日々は、テロに向かって彼の人生の扉が一枚ずつ開いていく道程をたどることであった。『ああ、別の扉が開いていたら彼の人生も異なっていたらどう』と何度も思った。

——近年の青少年による残酷な事件の報道に触れるたびに、子供は大人の鏡だと言われている。

私たちは愛を失った世界に非寛容、薄情、ねたみ、傲慢、自己顕示、不作法、利己、いらだち、恨み、不義、没真理、不信、そして忍耐力と希望を失った世界に墜ちつつあるのだろうか。私たちは子供が自分の未来を重なる人間像としての大人になっているのだろうか。自戒すること頻りである。

——子供たちは親のいうことは聞かないが、親のしていることは知らぬうちに真似をする。子供たちは、具体的な人間の行動によって

『愛』を受け、自分の行動としての『愛』を身に付けていく。家族、地域社会、学校などでの人間関係が大きな鍵を握っている。

皇族を直接のターゲットとしたこの衝撃的なテロ事件の検証を通じて、著者である中原さんは、『愛』の大切さを訴えようとしておられる。中原さんが虎ノ門事件の難波大助を知ったのは、たまたま高校時代の同級生が難波家の親類であったことから。難波大助の妹さんも同じ高校にいたが事件後中退、妹さんの運命について、胸痛む思いがしたという。

中原さんは、高校卒業後上京して東京女子大に学び、文化団体勤務の後、20年後に山口県に戻った。そのころから、また妹さんの事になり始め、昭和49年から大助についての資料集めや聞き書きを始めた。最初は出版する気などなかったが、朝日ジャーナルの第一回ノンフィクション賞募集を知って、虎ノ門事件の事件発生までを急いでまとめ、応募したら佳作に。昭和60年のことであった。

続けて後半も執

筆の予定であったが、ボランティア活動や県や市の教育委員としての仕事が増え、執筆に集中することは不可能だった。そして後編が書きあがって、校正終了が今年1月のこと。この間、資料収集や取材活動について実に多くの方々の親切と、影書房の編集者松本昌次氏に支えられて、この度出版の運びとなった。

■プロフィール

山口県阿武郡むつみ村生まれ。山口高等女学校から東京女子大に進み、東京の文化団体事務局に勤務。多くの著名な文化人の薫陶を受ける。昭和45年、結婚を機に山口に戻る。元秋女子短期大学教授。

定価 2800円

出版社 影書房（東京都北区中里2-13-13久喜ビル403 ☎

03:5907:6755)



1923(大正12)年12月27日、虎ノ門で当時摂政官だった昭和天皇を仕込杖銃で狙撃したが未遂——翌年11月15日死刑台刑と消えた難波大助。衆議院議員だった父との確執と人的苦闘、その社会主義的思想履歴を、裁判記録・青簡・遺言及び当時の社会的反響等豊富な資料であとづけるとともに「困窮」の汚名に崩壊する家族の運命、山口県の故郷の村との衝突・混迷を描ききった渾身の書下ろし歴史・秘史。

2月25日出版。46判上製 350ページ

イラスト：スペインの詩人口ルカ

萩城下の 古き雛たち

その仕掛人・久保孝文氏に聞く

萩城下の青木周弼旧宅、旧湯川家屋敷、伊藤博文別邸で、4月3日まで「萩城下の古き雛たち」と題する展示会（入場無料）が開催中。

今年で3年目、昨年は観光客を中心に2万8000人が、古き時代の雛人形を楽しんだ。その仕掛人は、萩市土原でウニ釜飯のお店「つば半」を営む久保孝文氏。

このイベントの元を手繰っていき、今から25年前、当時の青年会議所が主管として発足した文化

財保護協会に行き着きます。当初は文化財を守るということ、お金を集めて土塀の修復を行ったりしていました。もっとソフト面での充実を図ろうとの意図で、6年前に児玉邸（堀内）が一般公開された時に、邸内で胡弓の演奏会を実施したのが始まりです。

現在公開中の『雛たち』の展示も、萩に残る多数の文化遺産を外から眺めるだけでなく、中に入ってもらわいの深さを同時に実感してもらおう、そのための仕掛けなのです。

久保さんのお話によると、市内にはまだまだ多くの古き雛たちが所蔵されているとのこと。もっと多くの場所で、庶民が大切にしていた古き雛たちを展示できたら、というのが久保さんの当面の願いだそうです。

■プロフィール

昭和19年3月1日生まれ。萩高14期卒。(有)ボン代表取締役。萩雛を飾ろう会代表。



古き雛たちの展示のきっかけは、20年前に旧家から譲ってもらった江戸時代中期の享保雛が自宅に残っていたことです。それから市内の旧家を一軒づつ回り、展示のお願いをしました。今年は合計で400体以上の雛たちを展示することができました。観光客の方々にも喜んでいただいているようで、仕掛人としても本望です。



青木周弼旧宅に展示中の享保雛（江戸時代）

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

開催中の特別展

イタリア・ファエンツァ国際陶芸博物館所蔵

マジヨリカ名陶展

3月24日（日）まで

ルネサンス期を中心に名品約100点を厳選し、イタリアを代表するマジヨリカ陶器の魅力を紹介いたします。

平成14年度主な特別展

北澤美術館所蔵

アール・ヌーヴオーガラス名品展

4月6日（土）～6月2日（日）

19世紀末に花開き、わずかな数年で消えていったアール・ヌーヴオー。その優美なガラス工芸の名品を、定評ある北澤美術館のコレクションから選ばれた約140点によって紹介します。

オリエントの輝くつつわ

1 ガラス・金銀器・ラスタール彩陶器

6月8日（土）～7月14日（日）

世界中に影響を与えたオリエントの工芸技術に焦点をあて、紀元前から13・14世紀にかけてのガラス器、金銀器、ラスタール彩陶器など、「輝くつつわ」95点を一堂に展示します。

日本陶磁5000年の至宝

愛知県陶磁資料館コレクション展
7月20日（土）～9月1日（日）

日本陶磁についてわが国最大級のコレクションを誇る愛知県陶磁資料館の所蔵品によって、縄文土器から現代陶芸に至る日本陶磁5000年の流れを、重文4点を含む約120点の作品で通観するものです。

心のやきもの李朝展

1 朝鮮時代の陶磁 12002年
日韓国民交流年記念事業
9月7日（土）～10月27日（日）

朝鮮陶磁は14世紀末から20世紀初頭にいたる李王朝500年余の文化が生み育んだ個性豊かなやきものです。清貧の美ともいえる朝鮮陶磁を国内外の名品約110点で紹介いたします。

鈴木春信展

11月2日（土）～12月8日（日）
鈴木春信（1725～1770年）は、多色摺木版画である「錦

絵」創世の第一人者です。

シカゴ美術館、ボストン美術館など国内外に所蔵される春信の作品から、質・状態にこだわった約200点の代表作を展示します。

情報アラカルト

北海道

■岡田裕作陶展

萩焼作家・岡田裕の作品が展示されます。

とき 5月9日(木)～14日(火)

ところ 札幌市中央区 札幌東急

関東地区

■大屋窯の磁器展

大屋窯の作品が展示されます。

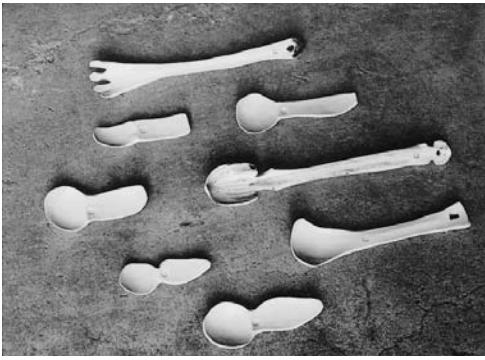
とき 3月11日(月)まで

ところ 横浜市 高島屋

■日本現代工芸美術展

萩焼作家・吉賀将夫、田中秀男、中村眞一の作品が展示されます。

とき 3月26日(火)～4月4日(木)



大屋窯の磁器展

ところ 東京都台東区上野公園

東京都美術館

北陸・東海地区

■吉賀将夫作陶展

萩焼作家・吉賀将夫の作品が展示されます。

とき 4月25日(木)～5月1日(水)

ところ 新潟県 大和新潟店

関西地区

■大阪指月会総会

大阪指月会総会を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

とき 4月21日(日) 正午～

ところ 大阪市北区 大阪弥生会館

■大屋窯の磁器展

大屋窯の作品が展示されます。

とき 3月13日(水)～26日(火)

ところ 大阪 高島屋

中国地区

■岡田裕茶陶展

萩焼作家・岡田裕の作品が展示されます。

とき 3月19日(火)～25日(月)

ところ 広島市紙屋町 広島そごう

■濱中月村小作陶展

萩焼作家・濱中月村の作品が展示されます。

とき 4月5日(金)～20日(土)

ところ 広島市南区出汐 花独楽 (082・251・8750)

山口県関係

■毛利博物館企画展「お雛さま」

毛利家に伝わる御殿飾りの有職雛を中心に、次郎左衛門雛や古今雛、雛道具など、ひなまつりに欠かせない品々のほか、子どもの産衣なども展示されます。

とき 4月7日(日)まで

ところ 防府市多々良 毛利博物館

■大屋窯の磁器展

大屋窯の作品が展示されます。

とき 4月11日(木)～16日(火)

ところ 山口市後河原 ギャラリー・セーヌ (0836・924・4559)

■平成「手鑑」展

日本画家・内田青虹、山口県立萩美術館・浦上記念館名誉館長・浦上敏朗の作品が展示されます。

とき 4月14日(日)まで

※3月18日、19日は休みです。
ところ 防府市 防府天満宮歴史館

浦上敏朗書

知恩

浦上敏朗

萩市関係

■ヴィレッジ20周年コンサート

近藤大地(p)、リチャード・デイヴィス(ベース)、ルイス・ナッシュ(ドラムス)、バリー・ハリス(p)によるジャズコンサート。

とき 3月22日(金) 午後9時～、23日(土) 午後7時～

ところ 萩市土原 喫茶ヴィレッジ

入場料 8000円

問い合わせ ヴィレッジ (0838・251・6596)

■ソフレ・ドウ・シャンソン シヤンソンのタバ

『魅惑のボイス』三原ミユキと、『魂のギター』中村ヨシミツを迎え、シックでセンチメンタルなシャンソンのタバ。

とき 3月5日(火) 午後7時～(午後6時30分開場)

ところ 萩市南古萩町 俣宿天十平

チケット 3000円(ワンドリ
ンク付)

問い合わせ 俣宿天十平 (0838・266・6474)

■鼓童 ONE EARTH TOUR

鼓童は、太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見いだし、現代への再創造を試みる集団です。

とき 3月9日(土) 午後6時30分～(午後6時開場)

ところ 萩市江向 萩市民館大ホール

入場料 一般3500円、学生2000円(当日券5000円増)
問い合わせ 萩音楽協会 (0838・266・3492)

■国際ソロプチミスト萩認証20周年記念チャリティー講演会

とき 3月16日(土) 午後1時30分～3時

ところ 萩市江向 萩市民館大ホール

講師 藤本義一(作家)
演題 「現代・人間を考える」

入場料 5000円
問い合わせ 国際ソロプチミスト萩 (0838・222・0711)

出版情報

■「防長の隠れた『偉人たち』」一坂太郎著

幕末から明治期にかけて活躍した郷土の人物をエピソードを交え

て紹介。高杉晋作、井上勝など50人を取り上げている。著者は、下関市吉田の東行記念館副館長。

A5判、210ページ。

定価 1500円

出版社 春風文庫(菊川町)

問い合わせ 東行庵

(0832-84-0211)

■「近世防長人名辞典」吉田祥朔著

徳山市のマツノ書店が限定500部で復刻。慶長から幕末に至る1800名の人物小伝。直販につき、書店では販売されていない。

A5判、360ページ。上製貼箱入。

定価 8000円(税込・送料3800円)

問い合わせ マツノ書店



テレビ情報

■三宅裕司のドンアウトin山口
山口放送(日本テレビ系)

3週連続山口横断バスツアーの

最終回。萩漁協の信用課で受け付け業務をこなす永靖子さん(21歳)と、超下派手保母さんの秋田かな絵さん(24歳)が出演し、爆

笑珍トークを繰り広げます。

放送予定 3月5日(火)午前0時12分〜0時45分

出演者 三宅裕司、恵俊彰、オセロ、眞鍋かをり

ビデオ情報

■「釣りバカ日誌12 史上最大の有給休暇」(松竹ホームビデオ)

釣りバカ日誌メソッド社員ハマちゃんと社長兼釣り弟子のスーさんのズッコケ喜劇12作目。萩を舞台に撮影され、昨年夏に全国公開された作

萩ネットワーク協会理事会を開催

2月12日、萩市役所で萩ネットワーク協会理事会を開催しました。

理事会では、議案3件が承認されました。

萩ネットワーク協会理事

○野村興兒(萩市長)

○刀禰勇(萩商工会議所会頭)

○藤原弘毅(萩市観光協会会長)

○廣瀬海心(秋物産協会会長)

○長谷智(秋旅館協同組合理事長)

○三輪龍作(萩陶芸家協会会長)

○中津嘉和(萩ケーブルネットワーク制作部顧問)

○近江郁宣(萩市議会議長)

【新理事】

○松田輝夫(史都萩を愛する会会長)

品。今回は、釣り人生に憧れ早期退職した常務のドタバタに巻き込まれ・・・。12月26日レンタル開始。111分。16000円。

出演 西田敏行、三國連太郎、宮沢りえ、吉岡秀隆



○児玉明(萩観光ボランティア協会会長)

①役員選任について

松田輝夫、児玉明の2名を理事に選任することについて承認

②事業報告及び決算報告

平成12年度萩ネットワーク協会事業報告及び収支決算について承認

③新規事業(ポータルサイト)について

ポータルサイト運営を、萩ネットワーク協会事業にすることに承認

その他 次回の理事会は6月を予定。ポータルサイトの事業計画案及び13年度会計報告を行う

萩・文学散歩

中野重治「萩のもんかきや」

このコーナーでは、萩が舞台となった文学作品を紹介していきます。

今回は、「萩」と聞けば連想する方も多いと思われる、中野重治の「萩のもんかきや」です。

中野重治は、プロレタリア抒情

詩人として文壇に登場しました。

戦前、共産党に入党し、その後転

向、再入党、除名などさまざまな

曲折を経ながらも、誠実な自己批

判を通して、戦前、戦後の民主主

義文学をリードしました。

作品には「村の家」「空想家と

シナリオ」「歌のわかれ」「五勺の

酒」「むらぎも」「梨の花」「甲乙

丙丁」などがあります。

「萩のもんかきや」は、昭和31

年に発表された短編で、中野重治

の代表作の一つです。

萩の町をぶらぶらと歩きなが

ら、子どもへのお土産のことを考

え、戦争中の厳しかった日々を思

い出し、町屋の一軒で若い女性が

一心に仕事をしている姿を見かけ

ます。家にかかった表札から、こ

の女性が着物などに紋を書く、「も

んかきや」で、戦死者の寡婦であ

ることを知ります。

静かに戦争の傷跡を訴えてお

り、「もんかきや」という言い方

が古いだけ、新しい辛さが伝わっ

てきます。

作品の中で描かれているのは、

古い城下町の町屋です。

『それは、小さな、しずかな町だ

つた。松下村塾というのも一昨日

みた。川の水が澄んでいる。家並

が低い。大きな家のところへ出た。

そこは四つ辻で、その家は四つ辻

の一角をいばいに占めている。一

方は土塀でそっくり仕切り、それ

に直角に、おそろしく大きな長屋

の長屋門が立っている。門でしき

られる玄関の敷臺のところがおぞ

ける。門のうちが掃いてあつて、

大きな石がある。人間は見えない。

しんとしている。古い家なのだろ

う。豪家なのだろう。しかし侍屋

敷ではない。』

この小説のモデルとなった三隅

智恵子さんは、現在81歳で存命。

今は娘さんが「もんかきや」を継

いでいます。

小説に書かれた当時は東田町に

住んでいましたが、昭和61年に土

原に転居しました。

蒸気車模型と中嶋治平

萩市郷土博物館には、「興丸号」と称する蒸気車の模型が所蔵されています。この模型は、13代萩藩主毛利親の孫にあたる興丸(のちの毛利元昭)の守役であった、近藤市衛門政信の曾孫から寄贈されたものです。市衛門が隠退するときに、元昭から下賜されたものといわれています。現在、我が国には「興丸号」を含めて、幕末期の蒸気車模型が全部で4台ほど伝えられています。他の3台のうち、一つは佐賀藩精煉方が安政2年(1855)に独自に製作したもの、二つ目は幕末からイギリスに留学した加賀藩士が明治2年(1869)に持ち帰ったもの、三つ目は山口県立山口博物館に所蔵されている「NAPOL EON」(ナポレオン号)という銘板のあるもの。これら現存する4台の蒸気車模型のうち、佐賀藩のものを除いた3台は、すべて外国製です。



蒸気車模型「興丸号」

さて、万延元年(1860)9月に中嶋治平は、鹿児島にある薩摩藩の大工場群集成館へ視察の途につきました。治平は鹿児島を経て長崎へも立ち寄り、藩から購入を命ぜられた「陸蒸気機械」のほか、「小さき蒸気

車」も購入して帰藩しました。この「小さき蒸気車」とは蒸気車模型のことで、治平から藩主敬親へ献上されました。そして、文久元年(1861)4月1日には、萩城本丸御殿奥の馬場において、藩主臨席のもと、治平は蒸気車模型の運転を行いました。ちなみに、治平はこの模型を藩主に献納する前に、すでに浜崎新町の自宅前の道路(下ノ丁)で試運転を行ったとも伝えられています。

幕末期、治平によって萩で初めて運転された蒸気車模型は、萩市郷土博物館に所蔵されている「興丸号」なのか、はたまた山口県立山口博物館に所蔵されている「ナポレオン号」であるのか、2つの説があります。模型の大きさから見ると、「興丸号」の機関車の長さ20・5センチ、幅9.2センチに対し、「ナポレオン号」の機関車は長さ39・4センチ、幅12・5センチもあります。また、模型の形状から見ると、「ナポレオン号」はより精巧につくられているのに対し、「興丸号」はシンプルにつくられ、蒸気車が發明された当時の1830年代のモデルに近いといわれています。ヨーロッパで蒸気車の模型が商品として一般化するのには、1840年代の後半からで、1850年代に入ると模型を製作する工場が急速に増加します。しかし、1870年代以降になると、模型工場は淘汰され精巧な模型をつくれる工場だけが生き残り、その数はかえって減少していきます。この間、模型は次第に大型化、かつ精密化していったといえます。

このように、蒸気車の模型の歴史から考察すると、山口県立山口博物館所蔵の「ナポレオン号」は、その大きさや形状から1860年代後半以降の製品と見なすべきであろうといわれています。これに対し、萩市郷土博物館所蔵の「興丸号」は、1860年代以降は余りつくられないタイプの模型であるので、1850年代につくられたと見るべきだと考えられています。嘉永6年(1853)に佐賀藩精煉方の中村奇輔が、長崎に入港したロシア船内で蒸気車の模型を見て、その大きさは「7寸ばかり」(約21センチ)と言っていることから、「興丸号」は1850年代に製作された模型である可能性が高いといえます。

このことから、治平が長崎で購入し萩にもたらした蒸気車の模型は、1850年代に製作されたと思われる「興丸号」だと考えたほうが妥当であると思われる。ちなみに、1860年代後半以降に製作されたと思われる「ナポレオン号」は、木戸孝允が明治6年(1873)に欧米の視察から持ち帰ったものとする説もあります。治平から藩主敬親へ献上された蒸気車の模型は、敬親の孫の興丸に玩具として与えられ、さらに興丸の守役の手に渡ったでしょう。いずれにしても、模型とはいえず、自動で動く機械としてもたらされた小さな西洋文明を目の当たりにして、萩の人々は大きな衝撃を受けたに違いありません。

萩市郷土博物館 樋口尚樹

Topics

青木周蔵のひ孫 青木盛久元ペルー大使の 里帰り



2月4日、萩本陣(萩市松本市)で、青木盛久氏の講演会がありました。青木氏は、東京都出身、外務省入省後、ペルー・ケニア大使を歴任。在任中は、ペルー日本大使館襲撃事件やケニア・タンザニア米国大使館のテロ襲撃事件に現地遭遇しました。

明治時代の外相、青木周蔵は、氏の曾祖父にあたり、第1次山県内閣をはじめ、3度外相を務めました。明治27年には、日英通商航海条約に調印して治外法権を廃止し、政府の懸案であった不平等条約の改正に大きく貢献しました。

周弼・研蔵・周蔵の旧宅が今も、萩市南古萩に残っています。